

# 薪ストーブ

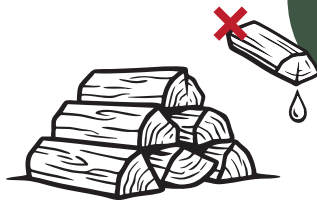
をご使用の皆さまへ

## 心地よい薪のある暮らしを守るために

薪ストーブは、森の恵みを活かす持続可能な暖房方法です。  
しかしその使い方によっては、煙や臭気が周囲に影響を及ぼすこともあります。  
私たちは、森を守る活動とともに、地域と調和する薪文化を大切にしています。  
どうか今一度、ご自身の使い方をご確認ください。

### 乾いた薪を

使っていますか？



含水率  
20%以下  
の薪を使用

しっかり乾燥した薪は、煙が少なく、よく燃えます。湿った薪は、知らないうちに煙やにおいの原因になることがあります。目安は『割ってから最低1年以上、しっかりと乾燥』させた、含水率20%以下の薪を使用してください。

### 薪以外の物を

燃やしていませんか？

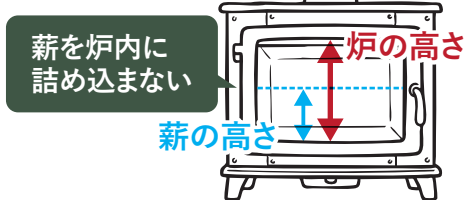


松ぼっくりや  
杉の葉も  
煙が多く出る

家庭ゴミや紙類廃材でも、見えない有害物質を含むことがあります。また、紙や新聞紙は煙突から舞いやすく、松ぼっくりや杉の葉は煙が多く出やすいので控えてください。素早く温度を上げるには着火剤を使用してください。

### 適量の薪を

追加していますか？

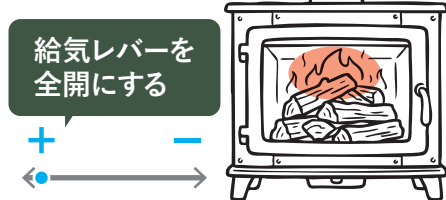


薪の量はストーブにより異なりますが、目安として、炉内の高さ半分くらいが目安です。ただし、着火時の焚付薪の量は、高さ半分以下あっても構いません。

※各ストーブの取り扱い説明書を確認

### しっかり燃やせて

いますか？



燻らせず、最初はしっかり空気を入れて温度をしっかり上げる。煙がほとんど見えなくなれば、良好な燃焼のサインです。

空気の絞り過ぎは、燻ってしまい強い臭いや、煙の原因になります。

## 煙突の点検・掃除を

していますか？

煙道火災防止の為に！  
煙突掃除は、最低でも  
年に1度行う。

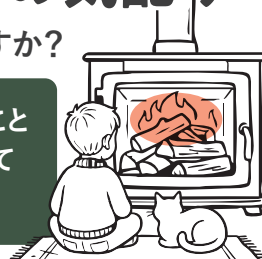


薪ストーブの煙突掃除は、主に「煙道火災防止」と「燃焼効率の維持」のために、年1回欠かせない安全作業です。煙突内に蓄積する煤やタールは、煙突火災の原因となり、住宅全体が火災に見舞われるリスクがあります。

## 周囲への気配り

できていますか？

正しく使うこと  
を、心がけて  
下さい。



薪ストーブは、正しく使えばとても環境にもやさしい暖房です。その一方で、焚き方や燃料によっては煙や臭いが強く出ることもあります。地域で気持ちよく使い続けるために、基本的な使い方と周囲への配慮を大切にしましょう。

※本内容の一部は、日本暖炉ストーブ協会の公開資料を参考に要約しています。

## 薪ストーブは、薪づくりから



# YAMAZON

Rescue the Green Desert

ストーブに薪をくべる者。森を守る者。



NPO 法人山存は、猪名川町北部を拠点に、毎年1月から3月にかけて里山に入り、薪づくりを行っています。私たちは薪ストーブのある暮らしを楽しむ中で、手入れを必要としている里山の切実な現状を知りました。薪ストーブユーザーが必要とする「薪」というエネルギーと、山が求めている「手入れ」という力を結び、無理のない“WIN-WINの循環”活動を、楽しみながら続けています。それは、猪名川町の豊かな森への恩返しと、豊かな森を未来へ繋ぐ小さな一歩です。

薪づくりから森づくりへ  
参加してみませんか？

NPO 法人山存  
公式サイト→

